

# 関節炎誘発モデル/ラット

## DA/Slc ラット

### DA/Slc

#### 由来

DAラットの呼称は、その毛色、Dark Agoutiに由来するが、系統の起源は明らかでない。  
当社では本ラットを1984年に熊本大学から当社導入し、以後生産・供給を行っている。



#### 毛色

#### 遺伝的プロファイル

ダーク アグーチ色 RT1.A:a

#### 特徴・用途

コラーゲン関節炎  
アジュバント関節炎  
アレルギー性脳脊髄炎モデル

### コラーゲン関節炎誘発試験

#### 使用動物

系統: DA/Slc ラット  
性別: 雌  
匹数: 15匹(うち10匹に感作)  
感作週齢: 8週齢  
固形飼料: ラボMRストック(日本農産工業)

#### エマルジョン

- 1) 抗原液
  - ① 抗原: ウシコラーゲン II 型
  - ② 溶媒: 0.1% 酢酸磷酸緩衝液
  - ①を②にて2mg/mLに調製
- 2) アジュバント  
FIA  
1)、2)を等量で合わせコラーゲンとして1mg/mLのエマルジョンを作製

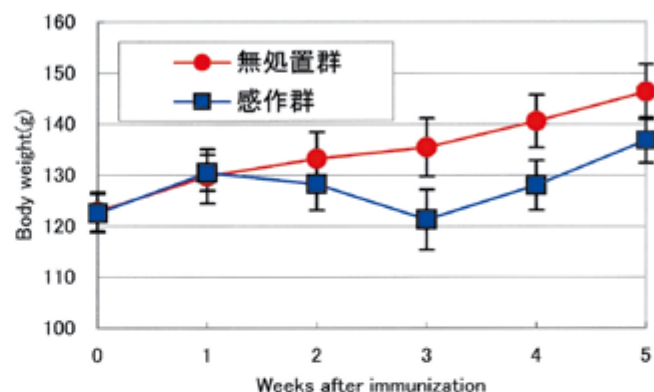
#### 投与

背部に0.05mlずつ4ヶ所に(合計コラーゲン量として0.2mg/animal)投与

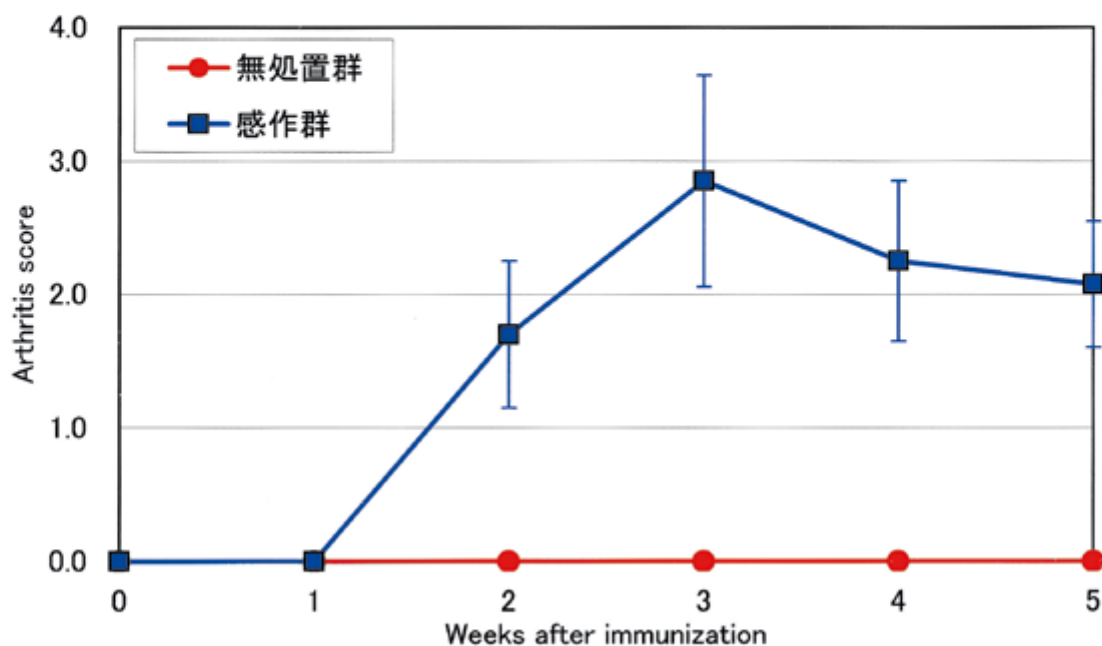
#### 関節炎発症率(各データは左右後肢の平均値を集計)

感作後2週に100%

#### 体重(感作後)



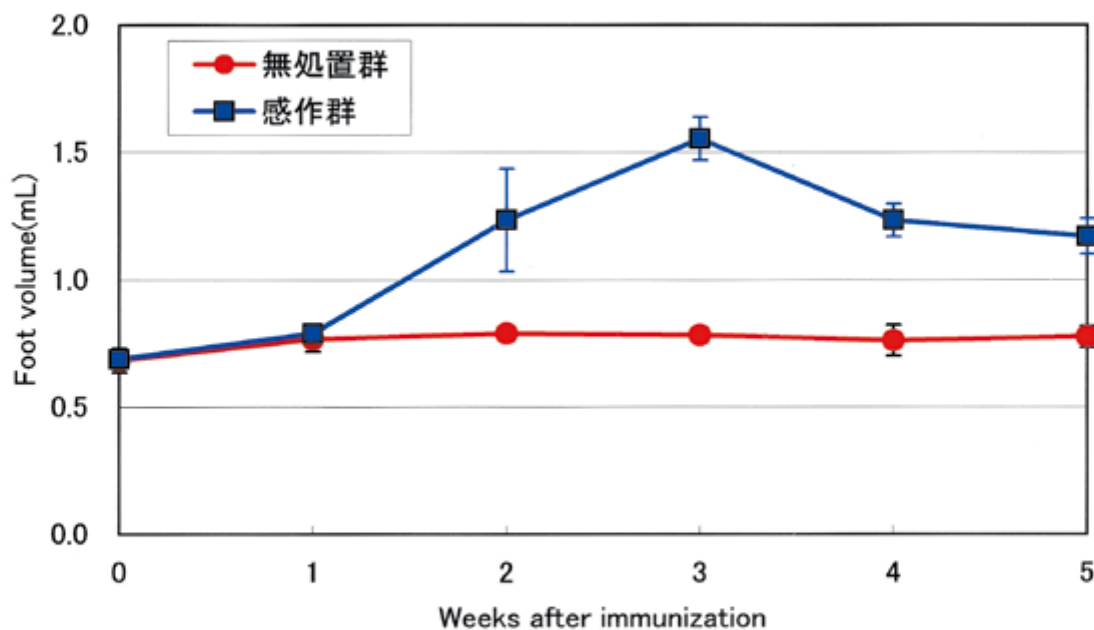
## 関節炎指数



〈関節炎発症の基準〉

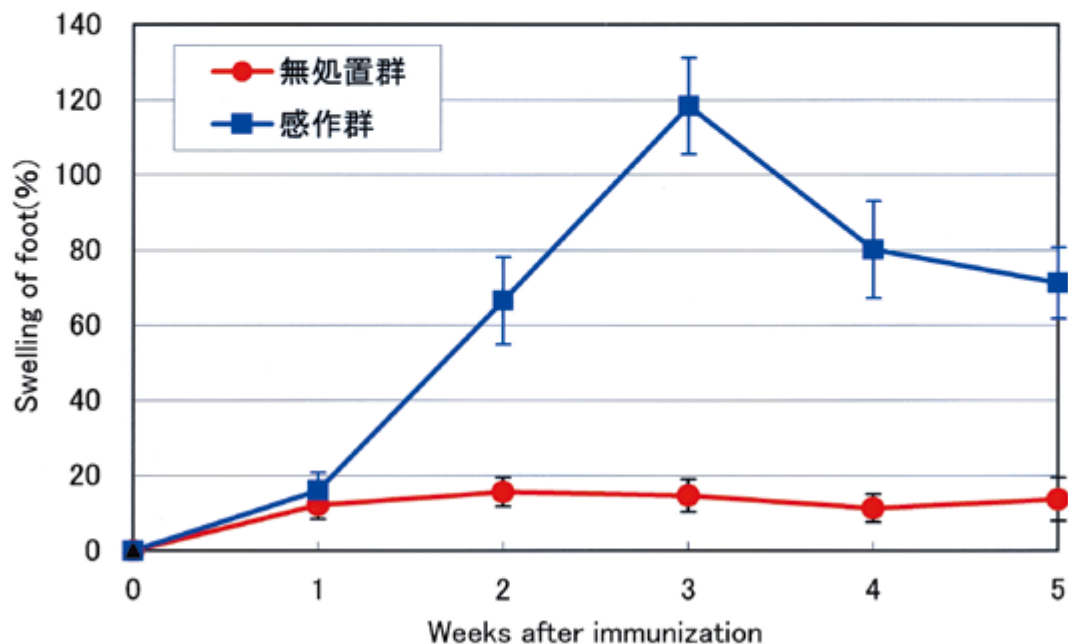
4段階の評点化 (0:変化なし 1:足指の腫脹 2:足指および足裏の腫脹 3:足全体の腫脹 4:重度の腫脹) を行い、骨変性がみられた場合+1を加算して評価した。

## 後肢容積



測定機器：デジタルボリュームメーター (MK-500; 室町機械)

## 後肢浮腫率



浮腫率

(処置後の後肢容積 - 処置前の後肢容積) / 処置前の後肢容積 × 100

## コラーゲン関節炎モデルの特徴

関節リウマチにみられる重篤な関節腫脹、骨破壊等の慢性炎症が認められ、抗炎症剤等の評価が可能。  
(骨膜炎、骨破壊、骨及び軟骨組織、関節滑膜の評価に用いることができる。)